

ボランティア活動アンケート調査

(1) 調査の目的

ボランティア活動をされている皆様へのアンケート調査により、今後の地域福祉活動への支援方策を導き出すため実施しました。

(2) 調査の方法

調査の方法は以下のとおりです。

- | | |
|-------|-----------------------------|
| ①調査対象 | ボランティア登録されている方 |
| ②対象者数 | 1,237 人 |
| ③抽出方法 | 平成28年10月1日現在、ボランティア登録されている方 |
| ④調査方法 | ボランティアグループ代表者より配布と回収 |
| ⑤調査期間 | 平成28年10月21日～11月18日 |

(3) 回収結果

調査用紙の回収結果は以下のとおりです。

- | | |
|---------|---------|
| ①調査対象者数 | 1,237 人 |
| ②回収数 | 944 人 |
| ③回収率 | 76% |

(4) 集計結果の表示等

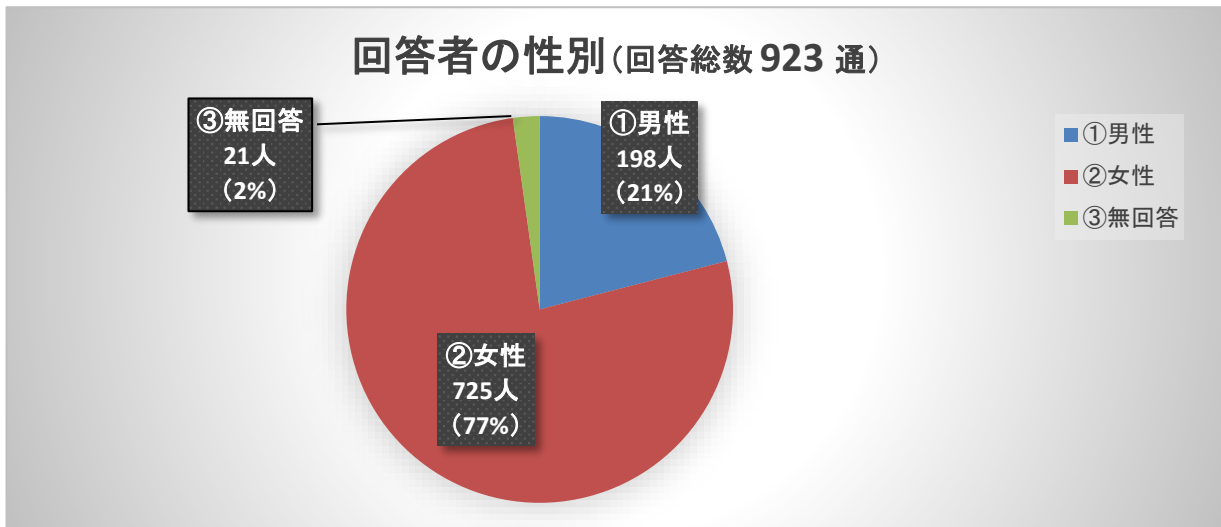
集計結果は、小数点第2位を四捨五入し、構成比率(パーセンテージ)で小数点第1位まで表示してあります。そのため、表示された構成比率の合計が100.0%にならない場合があります。

(5) その他

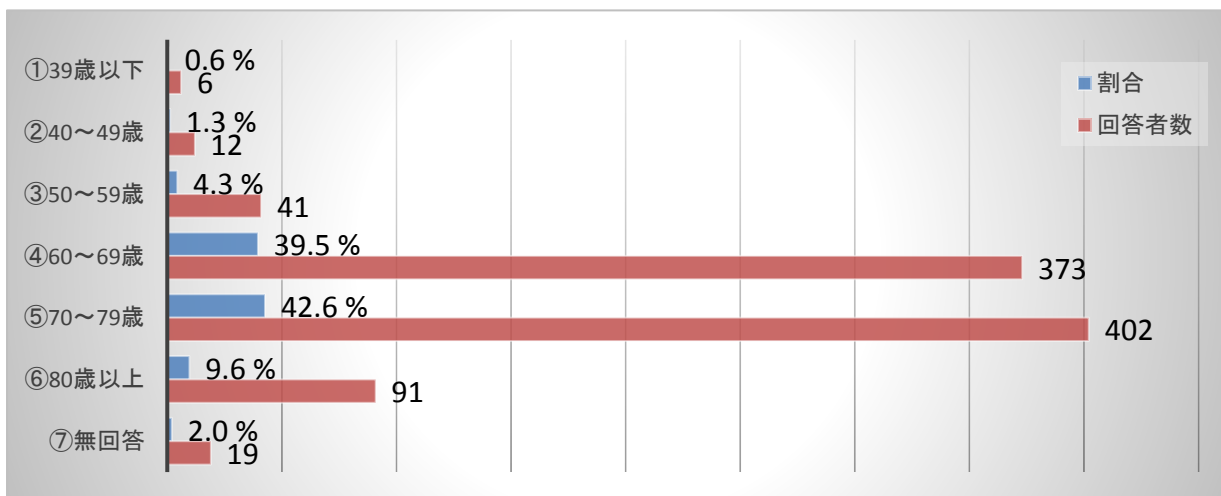
その他の回答や自由意見については、加工、省略等があります。

<回答の概要>

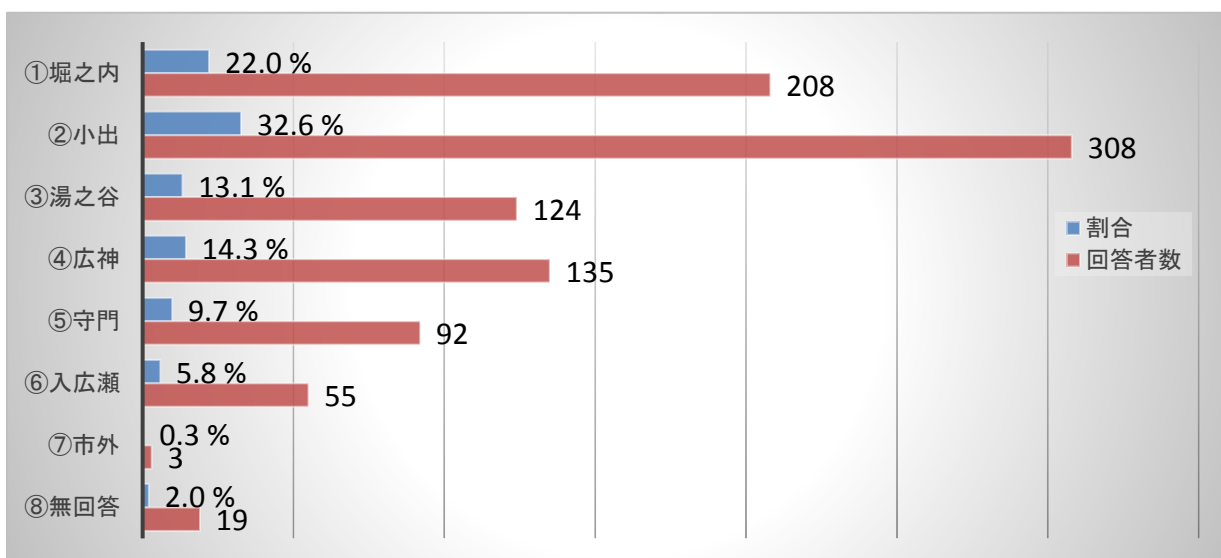
問1 あなたの性別はどちらですか。



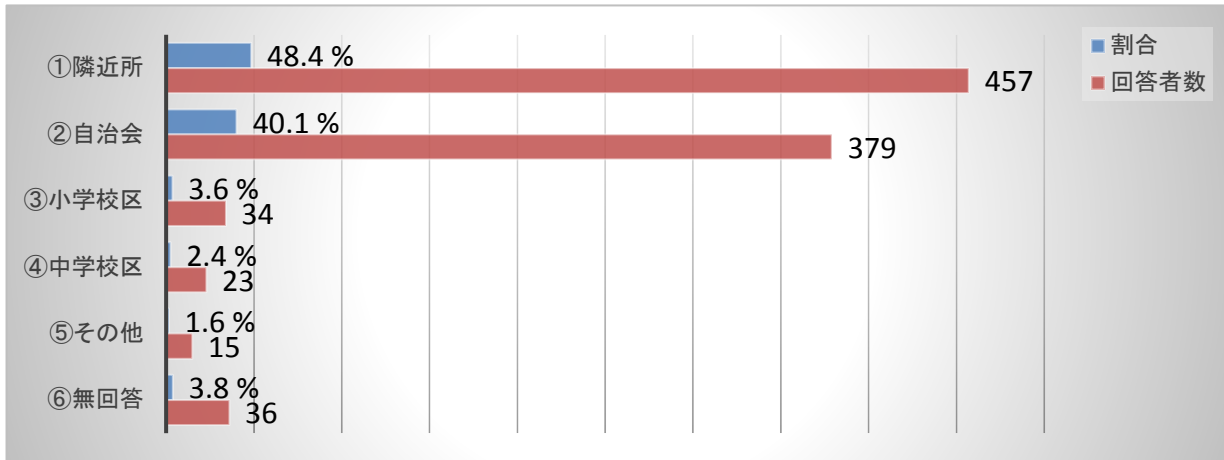
問2 あなたの年齢はおいくつですか。



問3 あなたが現在お住まいの地域はどこですか。



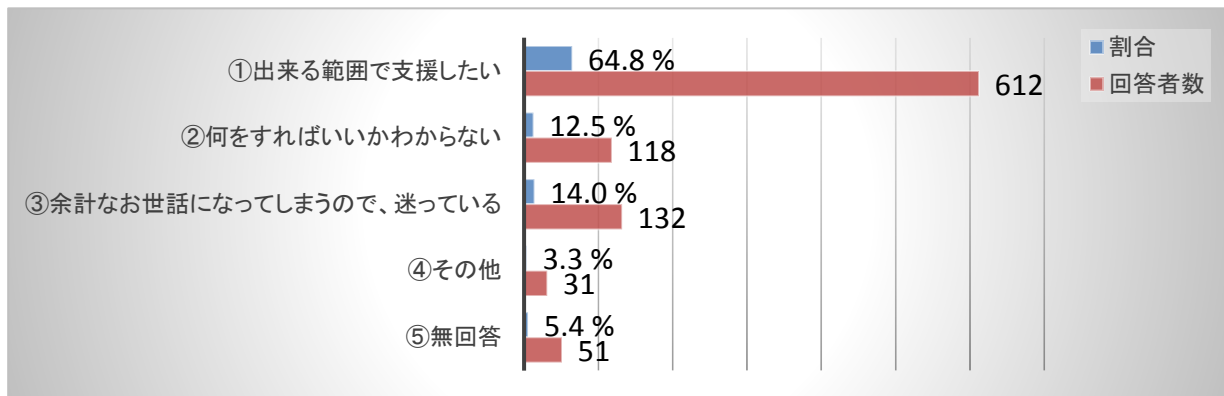
問4 あなたにとって、住民が支えあう「地域」とはどのような範囲だと思いますか。



【その他】

・市内 7
・知人
・内容によって範囲が決まる
・色々な場合がある
・昔の字区内
・町内会
・集落内外
・その時々、事象によって異なる

問5 近所の方で、何らかの支援を必要としている方への支援について、あなたの考えに最も近いもの。

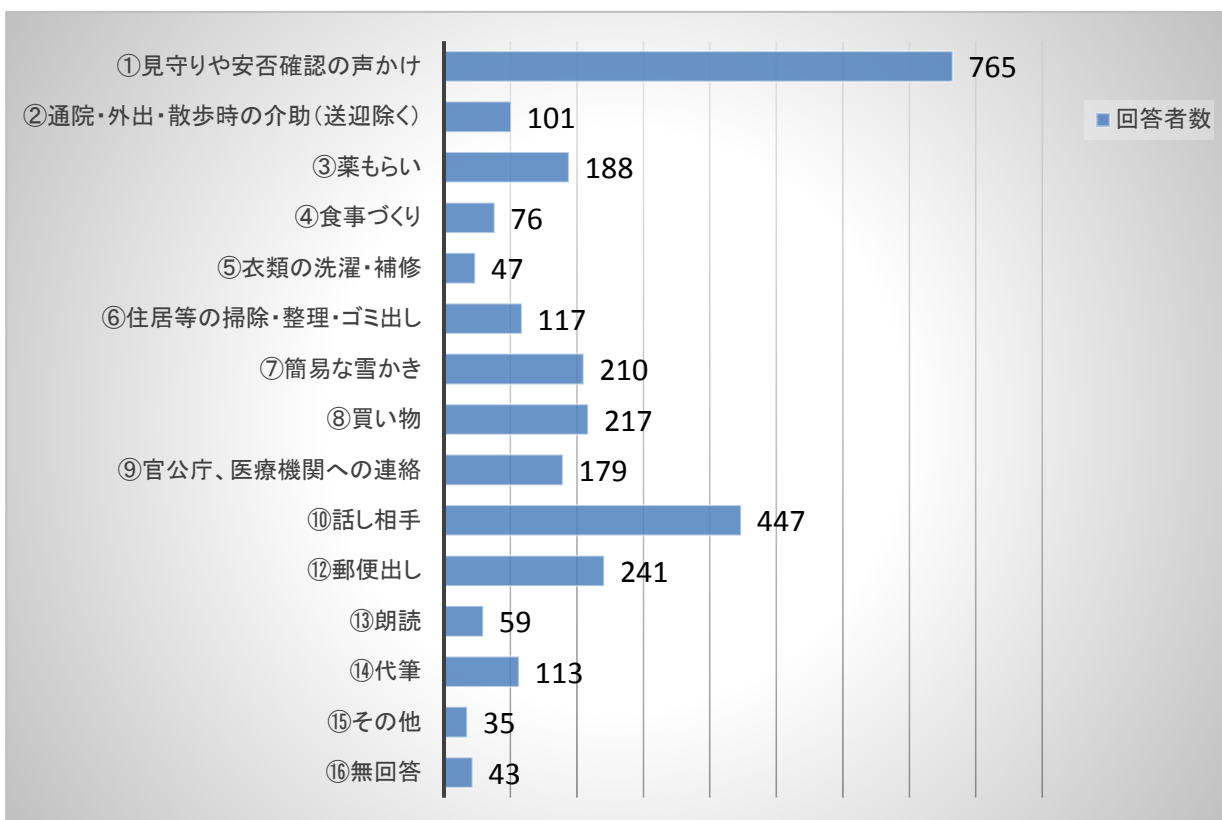


【その他】

・今のところは皆さん元気でやっていますが何年もしない内に支援が必要かな？
・頼まれればやりたい
・すでに、顔を出すなどしている。
・出来る限り、家族の了解を得て、イベント等に連れて行く。
・支援の要請があれば出来る範囲で行いたい
・自分の子育てや生活もあり、短時間やついでの支援しかできない。
・一人暮らし高齢者、介護を必要とする家族はありません。
・それぞれの家族で頑張っているように感じる。時々、立ち話などして励ましている。
・自分自身が色々な役をしていて忙しく、支援するまでにいたらない。
・家族の中で介護しています
・家庭内のことで手一杯

・近所に手助けのいるような人はいない
・今は介護をしているので無理です。
・声掛けだけで、希望されないことはしない。
・どこの誰が他者の支援を必要としているのかわからないのにどうやってするのか！？
・ちよくちよく話しをしに行く
・日頃のお付き合いがあまり無いので必要かどうかもわからない
・歳なので世話になることが多い
・自分が介護しているので他のことは考えられない
・手伝いたい気持ちはあるが、時間がとれない
・実際に、家で渡し一人で介護をしていたが、手助けなどの声かけはなし。お互いに、家のことには介入しないようにしている。
・自分のことで精一杯です
・今の時代は家族中心主義なのでなかなか手が出せない
・何か相談されたり、頼まれたりしたら対応すると思う
・自分自身も高齢者(親)の見守りがあるので、他人のところまで気持ちが向かない
・近くにいない

問6 近所に困っている家庭がある場合、あなたはどのような手助けができますか。(複数回答)



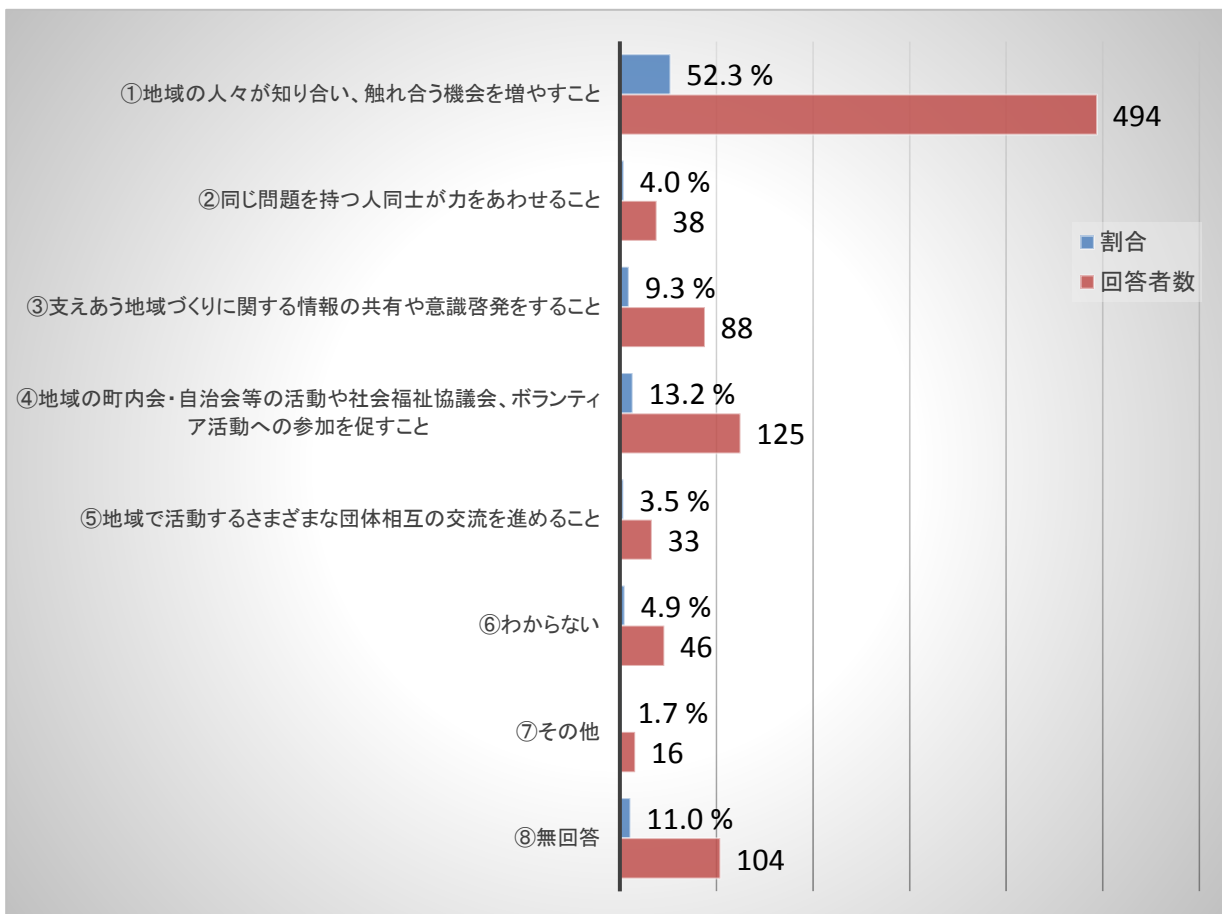
※選択肢⑩については、①と同回答だったため省略されています。

【その他】

・力仕事以外で、土日等に行える事であれば何でも
・来る人は拒まずの精神。
・おかずのおすそ分け
・家の周りの草刈
・必要とするときに手助けする
・作っている野菜をあげる
・わからない
・声をかけられたとき

・見守りを行う中で、やれそうな手助けがあれば、やれる範囲で
・特にしない。
・出張の散髪
・「困っている」という定義がわかりません。設問が抽象しています。むしろどうして「困っている」ということを他者が知りえるのでしょうか！？
・本人から申し出てもらい、出来る範囲でやりたい
・自分の仕事を持っているので、なかなか日は決められず
・身内の支援をやっているのでは出来ません
・見守りと頼まれて出来ることがあれば手助けしたい。
・頼まれたこと
・出来ることは協力したいが、自身が体調を崩してから、まず自分が健康であることが必須条件と身をもって体験した。
・ストーブに灯油給油
・おかず等作って持っていく
・依頼があればやってあげたい気持ちはあるが、近所のトラブルもあり難しい
・何でもお手伝いしたいのですが、自分も高齢者ですので…
・自分も70歳を過ぎており、人様のことまで出来ない
・自分が歩くのもままならず、出来ることはないです
・責任のあることは出来ない
・それぞれの機関の電話番号を書いて、助けを求めるよう言う
・助けることはできますが、どこまで入っていいのかわかりません。
・頼まれた場合は、そのことをやる
・考えていない

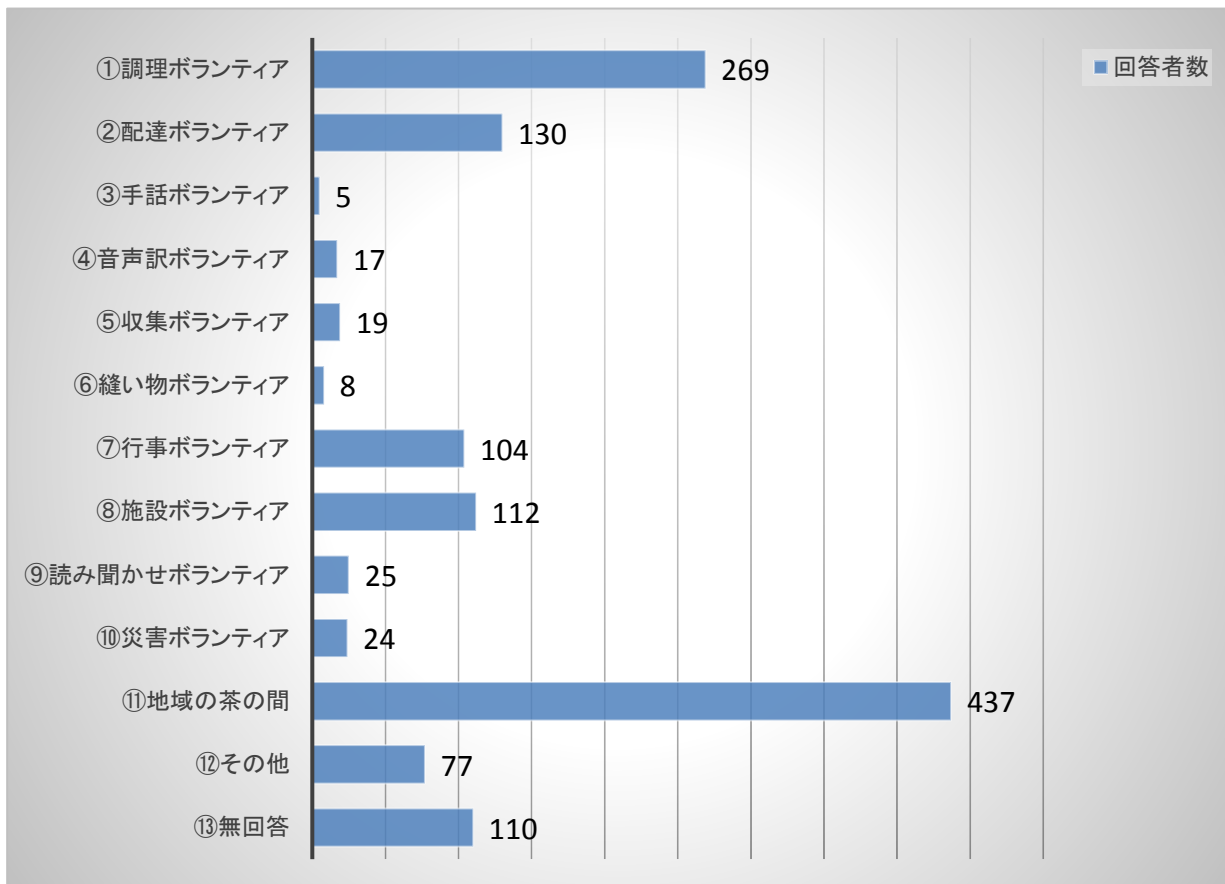
問7 住民同士がともに支えあう地域づくりを進めるために、どのようなことを行う必要があると思いますか。



【その他】

・各種団体との連携
・自分で出来るボランティアを目指しています。
・行政がもっと前向きに取り組むことが一番不足している。
・自分のことで精一杯である。
・近所の人だと逆に頼みづらい。困ったときに助けてもらえるホットラインがあるとよい。
・支援が必要な人、家庭の情報公開
・何と言っても行政の力を最大限発揮する、させることだと思います。住民同士とものとか、ボランティア活動と言っている間は、福祉全般発展しない地域になってしまう。
・町内等での集まりのとき(地域の茶の間等)、出来るだけ参加して色々な情報交換をする
・どこまで皆が支え合いが出来るかが難しい。若い人が家に居ない者には、今の時点では出来ない。
・近所の声かけ
・地域の茶の間が必要だと思う。せめて月1回。
・そろそろ自分がお世話になりたい

問8 あなたは、今どのようなボランティアに参加していますか。(複数回答)

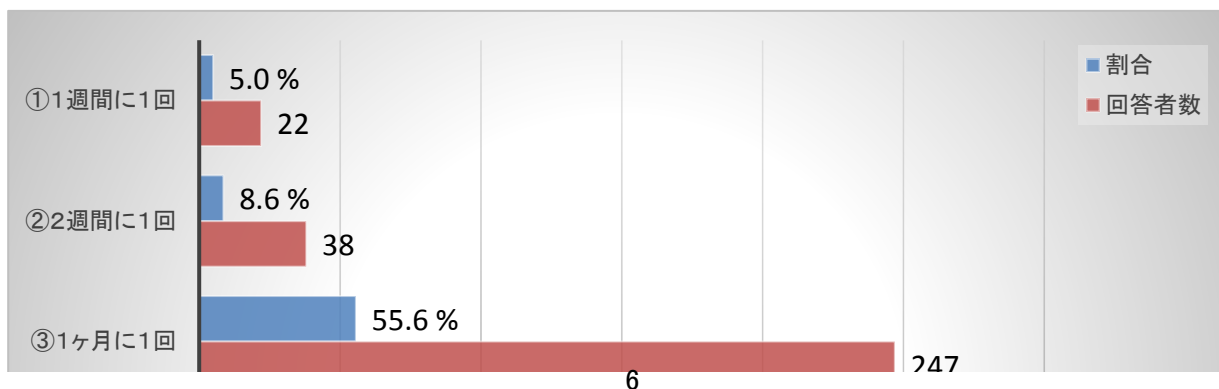


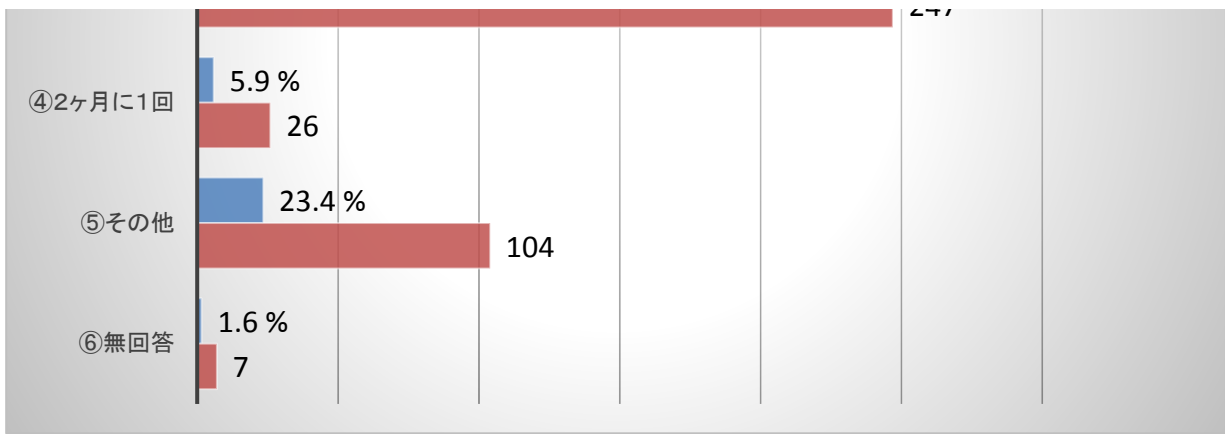
【その他】

・参加していない 9
・運動
・演芸、昔語り、傾聴
・演芸ボランティア
・踊りボランティア 2
・買い物、病院送迎
・喫茶ボランティア
・近所の人の見守り
・草刈り、冬囲い

・傾聴ボランティア 5
・傾聴ボランティア、文化財ガイドボランティア
・芸能活動ボランティア
・コーラス
・今年辞めた
・山岳会、コミュ協
・山岳会、登山道草刈
・参加したいが介護があつて参加できない
・仕事が忙しく、今は出来ていない
・自然保全事業
・自分で出来ることしかない
・三味線や唄
・小学生の見守り 4
・スクールガード
・相談相手
・知人訪問
・通院の送迎
・手で遊ぶ、昔の歌
・登校の見守り、人形劇、子ども教室
・図書館ボランティア
・図書館ボランティア、病院の送迎
・農作業、庭木剪定、雪囲い
・橋の清掃
・バス停掃除、ゴミ拾い
・病院への付き添い
・フードバンク
・ふれあい昼食会
・ミニ託、美化
・見守り隊 3
・見守りボランティア
・昔話の語り
・友愛ボランティア 5
・余興ボランティア 2
・理髪奉仕
・料理教室ボランティア
・老人会としての行事

問9 問8で「①地域の茶の間」と答えた方にお聞きします。
あなたの地域の茶の間は、今現在どのくらい開催していますか。

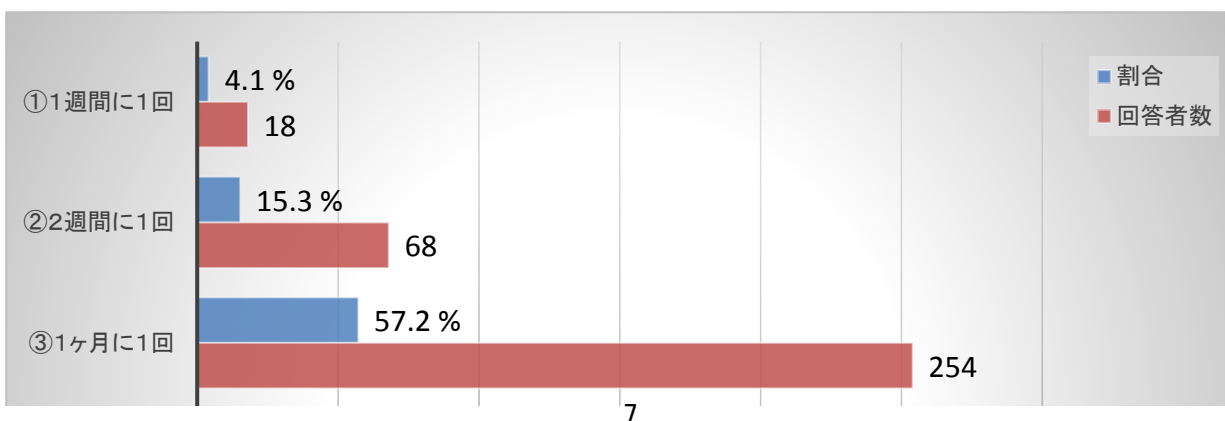


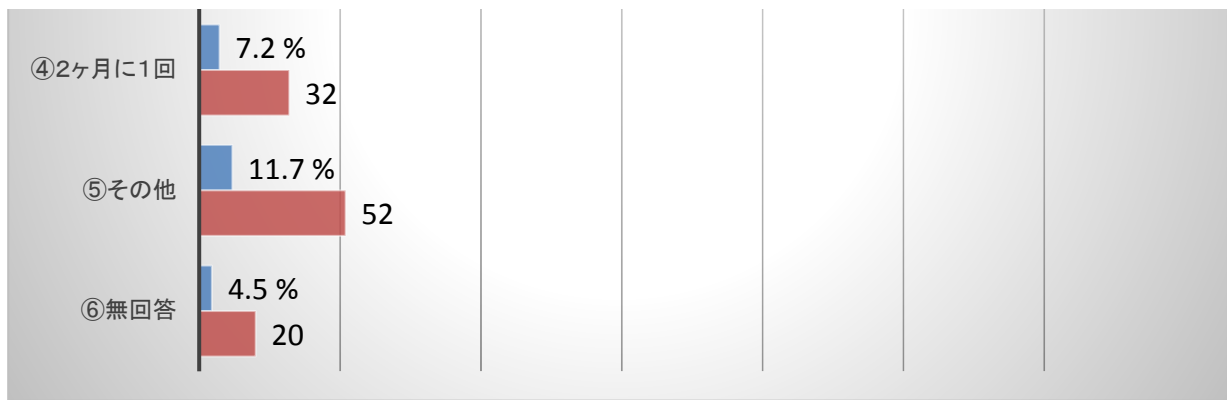


【その他】

・3ヶ月に1回 2
・只今、欠席が続いている
・月2回 6
・月によって不定期
・月による
・冬季週1回
・夏1回、冬2回
・夏場は少人数のためあまり参加しなかった。
・年1回 3
・年2～3回
・年2回 20
・年2回～3回 3
・年3回 4
・年3回～4回 2
・年4回 31
・年4回～5回 2
・年5回 5
・年6回 3
・年6回(冬季以外)
・年6回～8回
・年7回 3
・年9回
・春と秋1回ずつ
・不定期 2

問10 問8で「⑪地域の茶の間」と答えた方にお聞きします。
あなたの地域では、茶の間の開催頻度はどれくらい必要だと感じますか。

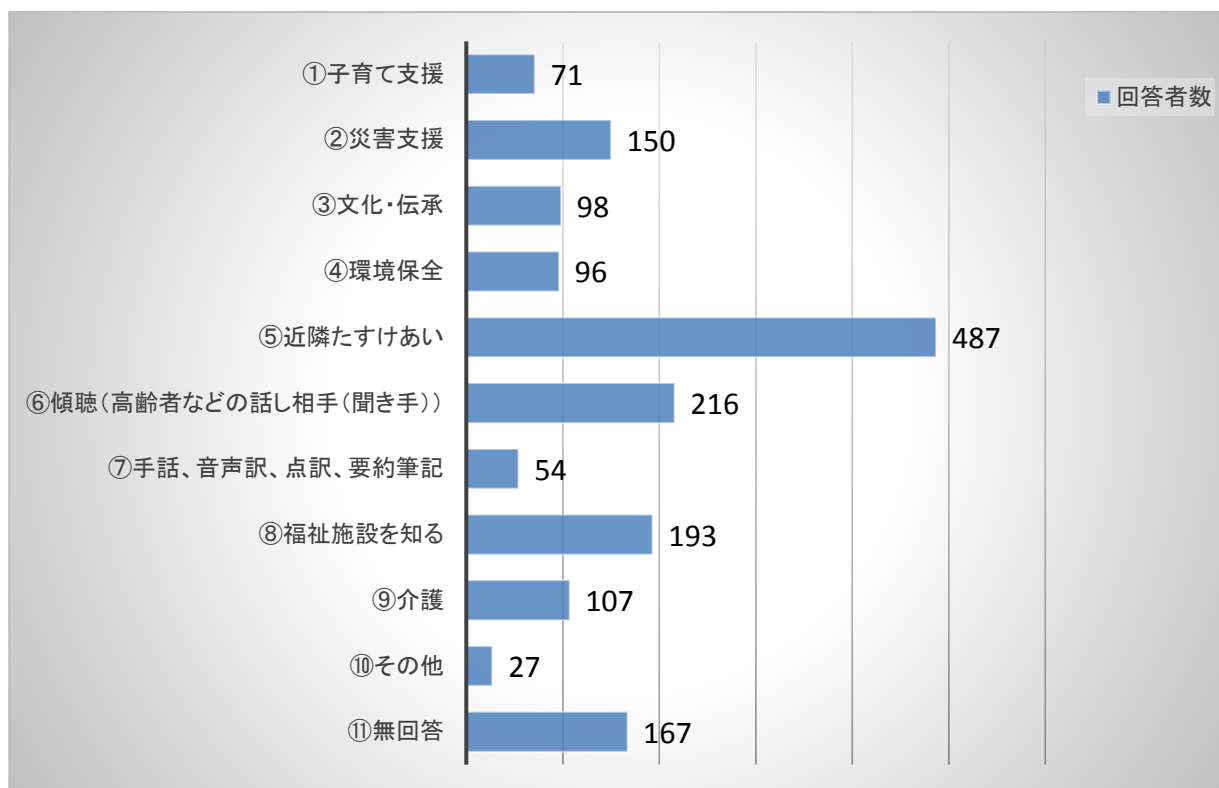




【その他】

・3ヶ月に1回
・お茶の間がいつでも出来ればいい
・該当者が少ない
・参加者が少ないので必要ない。
・週1回が理想だが、ボランティアに若手が加わらないと不可能
・男性の参加者が少ないため、男性の地域の茶の間が必要
・月2回 3
・月によっては不定期
・冬季間のみ
・冬季は危ないのでしない方がよい
・年1回
・年2回 6
・年2回。無理はできない。
・年2回～3回
・年2回～3回
・年3回 3
・年3回(予算の関係があるため)
・年4回 4
・年4回(多くしてもボランティアが大変)
・年4回(ボランティアの人数が増えないと増やせない)
・年4回(特に期間を定めず)
・年4回～5回 2
・年5回 2
・年6回(冬季間はなし)
・年7回
・場所を考えると、開催が難しくなっている
・春・夏・秋1回ずつ
・増やしても集まってくれる人がいない
・わからない

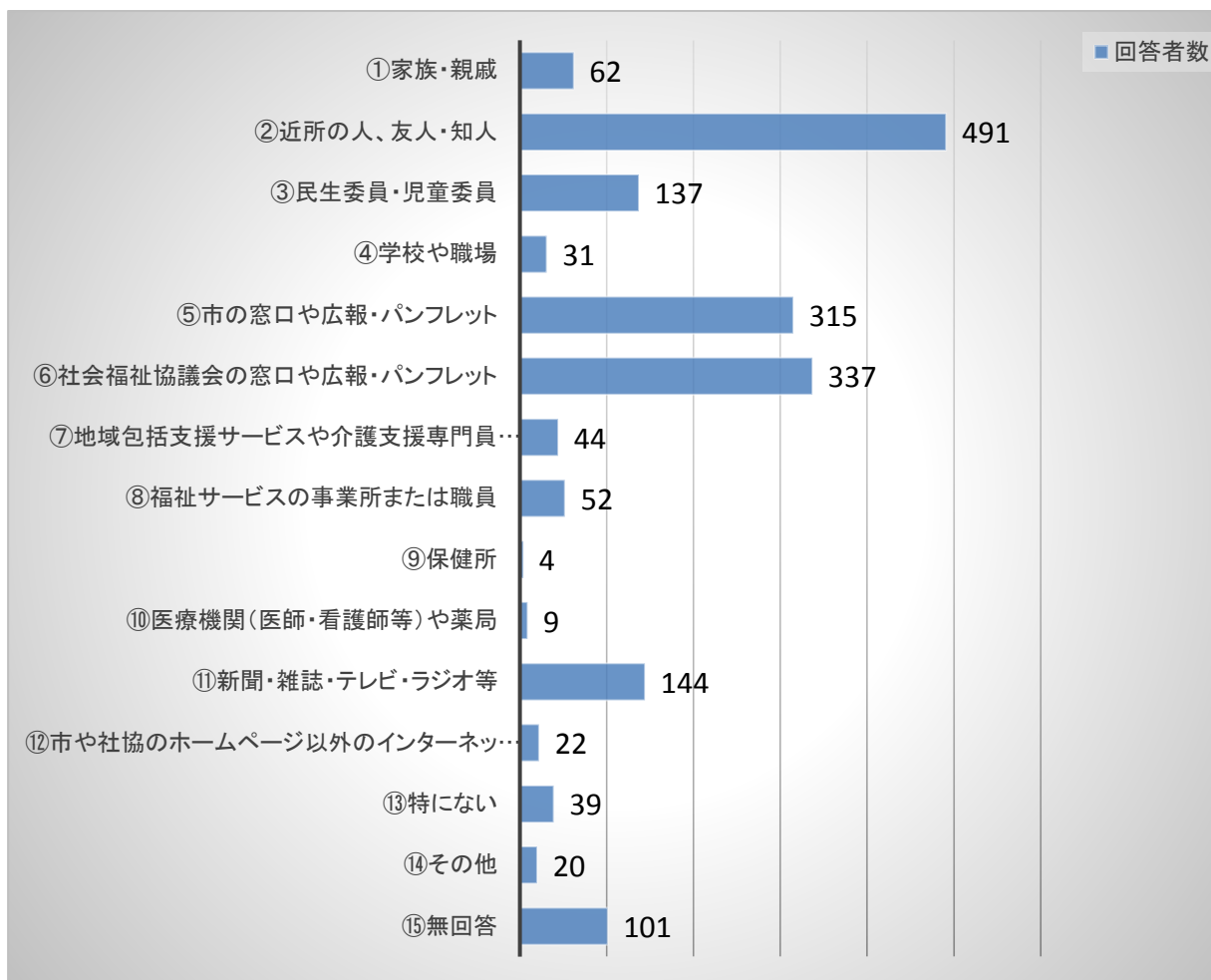
問11 魚沼市社会福祉協議会ではボランティア育成のための講座を開催しています。どんな内容なら参加してみたいですか。(複数回答)



【その他】

・内容だけでなく、自分の地域で開催されれば参加できる
・衣類のボタン付け、ゴム入れ
・老人会の行事を通じてなら参加したい
・参加しない
・地域の茶の間だけで良い
・定期的に参加できるような内容
・体調が良くないので、積極的に参加できない
・どんなボランティアがあるか、活動の内容や意義など
・現在ボランティアに参加しているので、講座には参加しないが活動は続けていく予定である
・今は考えていない
・介護の仕事をしていたので
・高齢だから辞めたいと思う
・茶の間ですぐできるゲーム、体操など、いつも内容が難しく、お年寄りに無理なものも多いと思います。
・講座まで受けるつもりはない
・特になし
・「ボランティア活動」はそれ以下でも以上ではない。むしろ雇用に向けて推進していくほうがいいのではないか。
・自分がボランティアしてもらおう立場になりました。
・参加したためになった。楽しかった。
・身内のことで手いっぱいです。
・自分が介護が必要な年齢になりつつあります。寝たきりにならない様にするのが一番。
・参加したいことばかりだが、足が悪く行けない
・参加できない
・娯楽、手品など人を楽しませるもの

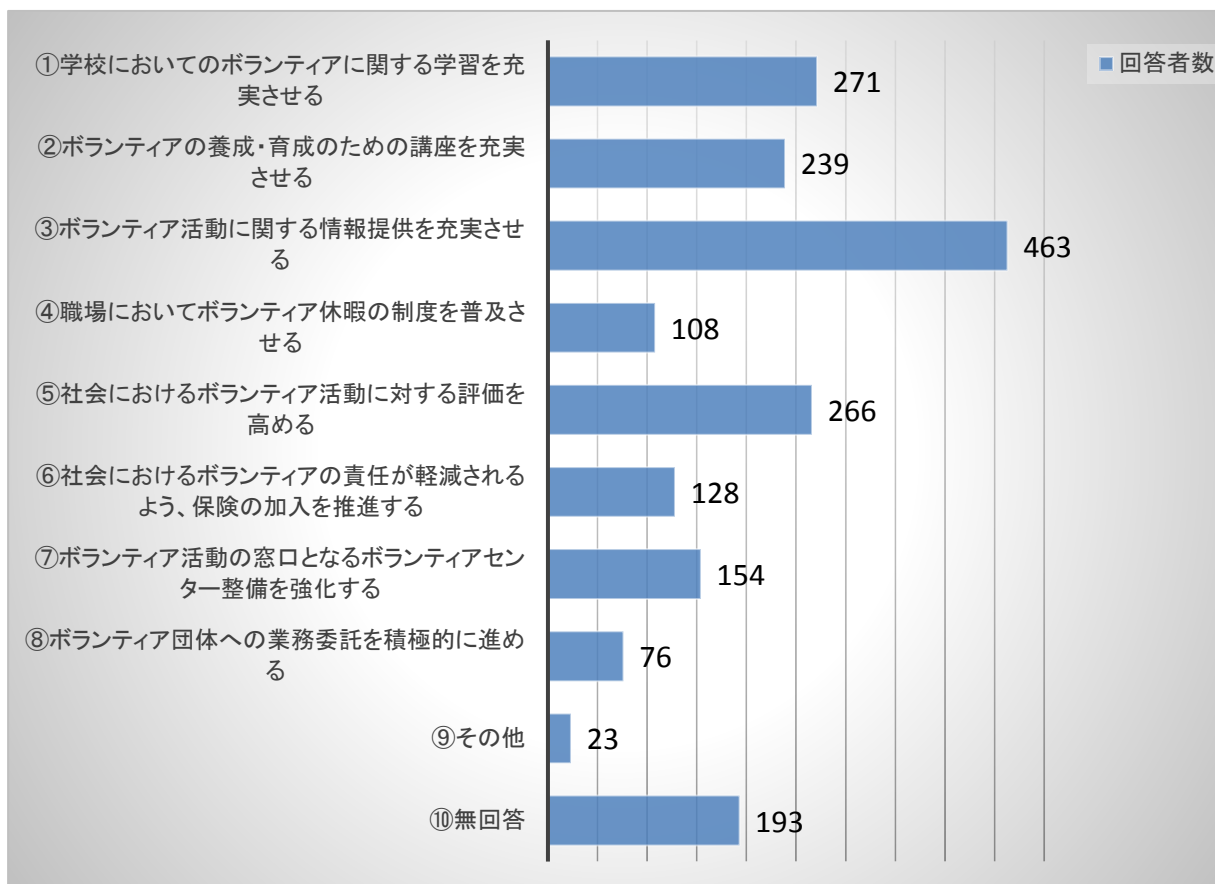
問12 ボランティア活動に関する情報はどこから入手していますか。(複数回答)



【その他】

・自分から施設に押しかけて行っている。
・ボランティアをしている人たちからの呼びかけ
・ボランティア団体の会長さん
・30数年前ヘルパーさんの声かけで始めました
・わかりません
・一緒にボランティアをしている人
・地域ボランティアの会
・ボランティア仲間
・地区ボランティアのトップから連絡をもらっている。
・ボランティア仲間
・ボランティアの会
・ボランティア団体
・地域の茶の間の代表
・現在所属している会のリーダーより
・地域の茶の間運営スタッフ
・回覧板

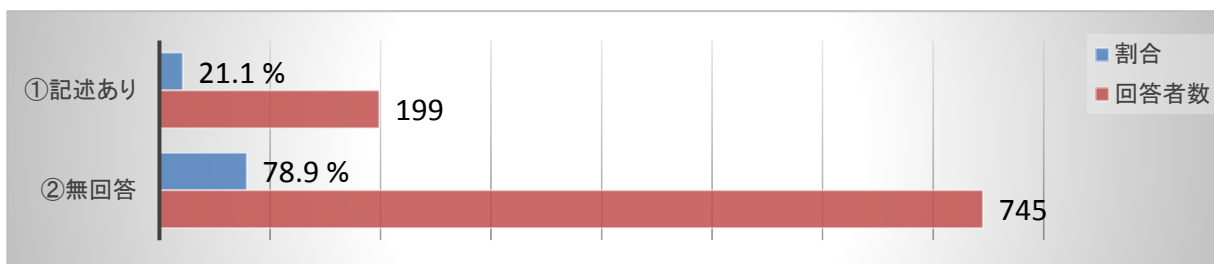
問13 ボランティア活動をもっと盛んにするために、どのような取り組みが必要だと思いますか。(複数回答)



【その他】

・自治体単位等、小規模の取組み
・老人会で墓の草取り、草刈をしていますが、皆さんの入会がなく続いていくことが無理？
・ボランティアに対するハードルを下げる。気軽に参加、知らず知らずに参加してるみたいな感じ。
・ボランティアが不足しているのか？どんなことをすればいいのか全くわからない。
・個々の一人ひとりの人間的成長が大事
・どんなボランティアが求められているか。アンケート等で統計的に把握する。
・自分の経験から子どもにボランティアをしている話をしたり、頑張っていることを伝える。
・私はボランティア活動を月2回やっています。
・わからない
・わかりません
・地域の人たちの繋がりが深まる行事を継続する。
・特になし
・有償ボランティアの推進
・今年度の交流会は都合つきませんが、今後は参加したいと考えています。
・若者の協力が必要だと思う
・災害時等ボランティアが来たときに、指揮する人の支援が必要と思われる
・全てをボランティアに任せる体制ではなく、行政の充実が必要と思う。
・一人ひとりが考えて、自分から進んで行うこと。
・各自ができるときにする。ボランティアを学ばせる。
・誰にでもわかるような活動をわかりやすく教えてもらいたい。
・もっと平べったく考えなければと反省しています。

問14 その他ご意見、ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。



【その他】

- ・ボランティアがあることすら知らない人が沢山いると思うのでいろんな人に知ってもらう必要がある。
- ・駅、バス停、ゴミ収集所、神社などを掃除、草取りする個人がいっぱいいる。目立たないボランティアを地道に行っていることに敬意を表しますが、各々もうちょっと報われる(評価する)ことが大切である。市、社協、自治会などがもっと取り上げてほしい。民生委員、人権擁護員、行政相談員、保護司など、国の機関から委嘱を受けている人はほとんどボランティアで、国、県、市は相当なる報酬(費用弁償)を援助拡大すべし。
- ・自分のできることをやるだけ。
- ・社協の効率的な活動を期待する。
- ・ボランティアを受ける側になったときの講座のような会があると良いと思います。知っていれば提供したり、受けたりしやすいのではないのでしょうか。
- ・「できる事」を「できる時」に「できる人」が参加できるボランティア活動に、これからも参加させていただきたいと思います。社協の皆さまにはいつもお世話になっています。ありがとうございます。
- ・自分自身が高齢になり、積極的にボランティアに参加しにくい状況になりつつある。現役の若い人たちに余り多く求めても、現実的に忙しくて困難なのではと思う。(時間的にゆとりがないと思う)
- ・社協職員でそれぞれの地域職員を充実させ、地域住民とふれあう機会をもっと作ると良いのではないかと。社協の活動も少々マンネリ化傾向があると思われます。各支所単位の活動も期待します。共同募金活動もマンネリ化してませんか。
- ・日雇い作業員です。平日仕事をし、土日祝は田畑の仕事に逐われる毎日です。農閑期には、囲い、雪かき等。毎日が日曜日になるころには体にガタが来ます。ボランティア活動に参加を考えるがなかなか？大勢居ると思います。
- ・養成講座受講後のフォロー研修の実施や間をおかずに必要とされている場での活動開始に繋がるような働きかけや道筋づくりをしてほしい。
- ・市でも少子高齢化が早いスピードで進んでいますので、市民全員がボランティア活動をやっていたら間に合わないのではないかと。行政や福祉の助けを待ってられなくなるのも時間の問題のように思われます)一人ひとり全員が助けたり助けられたりの気持ちを持てるような強い指導等を望みます。
- ・「ボランティアをした」ではなく、させていただいた気持ちで感謝！
- ・どこでどの様なボランティアがあるかわからない。
- ・ボランティアはあくまでボランティア。こだわりなく、できる活動をするつもりです。
- ・若い世代のボランティア人口があまり多くないように感じられる。講座等に参加する際、ベテランに囲まれ若干気が引けます。敷居が高い感じがし、新しいところに参加しにくいと感じます。いつも忙しい中、ボランティア先の施設との調整などしていただきありがとうございます。
- ・小出地区内で、給食ボランティアの会がいくつもあるのが疑問である。それぞれで、仲間意識が強すぎ、ギクシャクしている。若いボランティアも育てませんか。出来る事をやれるときにするのがボランティアかなと思う。
- ・給食ボランティアをしている方々から不安を聞きます。給食ボランティアのようなボランティアはこれから考えていく必要があるのではないのでしょうか。
- ・個人の自由意志によるものだから、[問13]のように、〇〇させる、〇〇高める、〇〇するとかの上から官公庁目線で考えること自体がおかしい。

・テレビなどで小中の子ども達が年寄りと一緒に昔の料理などを作り試食する。
・どんなボランティアがあるかよくわからない。はじめの取っ掛かりが難しい。
・近所同士で助け合えたらそれが一番なのではと思いますが、他人のことに手出し、口出ししない方が・・・と思っている方が多いと感じます。
・退職後すぐにお弁当配りのボランティアに参加しました。その後家の都合で一旦休み、今はお弁当作りに参加しています。「ボランティア」は”困っている人を助けること”と思っていましたが、最近は”活動に参加している自分が一番助けられる”と考えている。「ボランティア」は一番私のためになっています。心が一時元気になります。ありがとうございます。
・地域の茶の間に携わっています。月1回ですが集まってもらうのが大変です。色々な企画を考えて集まってもらっています。
・集落内のコミュニケーション不足を感じている。今は、集落支援員の活動に感謝している。
・ボランティアの良さは十分わかっているが自分を優先させたい。自分でやりたいことが沢山あって75歳位までは人生楽しみたい。
・ボランティアと聞こえはいいが、タダで働く人は嫌だ。役所(勤めている人)や議員は金を貰っている。民間にタダでやれとは虫が良すぎる。ボランティア活動には大反対です。ボランティアの言葉は大嫌いです。
・ボランティア活動は必要と考えますが、どうしたらいいのかわからない。
・今町内ごとに参加していますが、出来れば他の人たちとの交流もあったほうが嬉しい。どの町内でも名前のわからない人がいる。もう少し若い世代の参加もお願いしたい。
・自分がボランティアのお世話にならないように気をつけています。
・地域でのボランティア、若い人は仕事に出ていたりとなかなか参加できる人がいません。高齢者は増えるばかりで、続けていけるか不安です。
・一言でボランティアといわれても、いつ、どこで、どのような事をするのか、自分にはできるのか。内容がわからないし、判断ができない。
・無理に加入させるような事をすると、かえってダメになると思う。
・地域の茶の間を立ち上げて、一年経ちました。喜んでもらい、次は何かと楽しみながらやっています。
・女性が多いボランティア活動ですが、男性にも参加して頂きたいと思います。
・ボランティアに行くと同じ顔の人とよく会います。もっと情報提供をしていろいろな人に知ってもらいたい。
・そもそもボランティアとは？肩肘張らず堅苦しく考えるのではなく、目の前に困っている人がいたら、まず手を差し伸べる事、お互いに上下関係ではなく、お互い様、助け合いの精神から発していかなければならない。自発能動の精神で、心の中から生まれてくるものだと思う。
・年老いた母を抱え、思案することも多くありますが色々な方々に支えられ、今日までこれたことに感謝いたします。それと同時に自分にも出来ることがあったらささやかな力ですが役に立ちたいと願っております。
・市民がどんなことで他者の力を求めているかが統計的にわかれば必要とされている自身を持って活動できるのではないかと。必要性を示すことで、その活動が可能な市民が集められる(動機付けになる)のではないかと。活動の成果は市報・広報で公表すると多くの人に伝わると思う。
・若い人たちにももっとボランティアが出来る場を作ってもらいたい。ボランティアで知り合い結婚した人を知っています。
・高齢になっても出来る手伝いはあると思うけど、目的地に行くことが出来なければ手を差し伸べることは出来ません。そこでマイクロバスなどを出すようにすればいいかなと思ったりします。
・ボランティアは一人ひとり無理なく、自由です。「やらなきゃならない」にならない様に、長く続けられることをみつけるには、時間もかかると思います。もっと気軽に取り組めるのだというイメージも大切かなと思います。「責任感」が欠けてしまっただけはダメなので、無責任にならない意思の持ち方など。
・ボランティアが”生きがい”の一つと思える社会の仕組みづくり
・自分も高貴高齢者です。生きることを懸命にするだけです。
・70代後半にもなると周囲の目も気になり、自分の出来る仕事にも自然と手が出せない日々です。

<p>・少しでも世のため、人のためになろうと思って自分の時間を割き、ボランティア活動をやろうと思っている人なので、自分で長年やってきてよかったと思えるような場と機会を作ってもらえたら幸せに感じます。</p>
<p>・ボランティアを受ける側になったときの講座のような会があると良いと思います。知っていれば提供したり、受けたりしやすいのではないのでしょうか。経費のかからない労力としてとらえている感が無きにも非ずです。ボランティアはあくまでもボランティアであり、ボランティアをあてにしなくてもよい取り組み、計画が先決ではないかと思う。</p>
<p>・配食サービスの配達をしております。「元気だったかい。」「あっちえのんし。」「寒いんし。」「風邪引かないように。」など声かけしております。夏場は良いのですが、冬場の車(除雪車等)などのすれ違いに事故のないように注意しております。自分がもし年をとって人の助けを必要とするときのことを思い、今自分に出来ることと思いボランティアに参加しております。</p>
<p>・今までボランティアに参加したことがなく、自分でも協力できることがあると思った。これからも頑張りたいと思いました。声をかけていただき、本当に良かったです。</p>
<p>・(地域の茶の間)人数は少ないが皆さん喜んで参加しています。</p>
<p>・地域の茶の間と学校と月1回でもお茶飲みが出来たらいいな</p>
<p>・ボランティアメンバーの交流会を例えば月1回程度、定例会みたいなことにすれば、もっと盛んになると思う。</p>
<p>・毎年新しい病気がみつき、知らない人が連れてきた野うさぎの世話でいっぱいです。元気で来年を迎えたいと願っています。</p>
<p>・個人情報保護のため、近隣の情報を把握できないので、手助けの要請がなければ手出し、口出し、意見も述べられない。近隣の高齢者を見て、矛盾さに腹立たしく思います。せめて、近隣の情報くらいは、知り合えたほうが、自治会の活性化になるのではと常々思います。</p>
<p>・老夫婦二人暮らし、中々思っても手助けできる様な体力も衰えるばかりで、もう少しでお世話になるのでは？と不安を感じています。</p>
<p>・私たちは、女性組織の中で、20年以上も前に、高齢社会が波のように押し寄せるという事で、勉強会をやって、その当時3級だとか2級の講習を受けた記憶があります。皆さんそれぞれ仕事を持っていたので合間をみて、掃除ボランティア、茶の間で自分自身の健康の有り様を考えています。支援には感謝しています。</p>
<p>・ボランティア活動をやっていると、地域の方々にだけでなく、他地域の方々と一緒になれて楽しさも増します。大勢の方々に参加してほしいと思います。皆さんが興味を持つには、どうしたら良いのでしょうか？</p>
<p>・日にちが決められていると、中々都合が悪く行けないことがあります。そんなときは「悪いな」と思ってしまいます。一人暮らしの人のところへ、時間のあるとき話し相手したり、2~3人お茶飲みを読んだりすることもボランティアかな？と思います。日にち、時間を決めて集めて何かすることがいいのか？と考えることがあります。歩いて行けない人が近所にはいます。</p>
<p>・人によって色々な考え方があるのでなんともいえない。</p>
<p>・ボランティア会員に入会していただいても、一度も活動をしていない人がいる。</p>
<p>・夫婦でどこまで自立できるか？やれることは頑張らねば。力と気持ちを合わせて一生懸命です。</p>
<p>・茶の間「ゆうあい」について、世代や地域に関係なく誰でも参加できる交流の場を開設とのことですが近隣と交通手段のある方の茶の間ではないだろうか。広域の茶の間を考えているのであれば近隣・近郷から参加できる場所、堀之内・小出・湯之谷・広神・守門・入広瀬地区から参加できるバス停近くにあること、時間、それぞれが同じ時間帯に集結・解散できるバス停、より多くの男性が参加しやすいように麻雀、囲碁、将棋、パソコン教室など取り入れて欲しいと思っている。</p>
<p>・ボランティアをする人の年齢が高くなっています。なんとか若い人もボランティア活動をするきっかけがつかれないものでしょうか？</p>
<p>・皆のボランティアに対する認識がもう少し高まれば良いと思う。</p>
<p>・私は今、家で年寄り2人の介護をしているため、ボランティア活動という気持ちには残念ながらもありません。</p>
<p>・自分のことでいっぱいボランティア活動は無理。</p>

<p>・ボランティアを本当に必要としているところのボランティアをしたいがよくわからない。又、個人へのボランティアは本人の気持ちもあるのでむずかしい。有償、無償問わずに生きたボランティア情報(求人)を提供してほしい。</p>
<p>・ボランティア活動はとても重要で、現代社会においてはなくてはならないものだと思います。私の知人でも一人でいくつものボランティア活動に参加しておられる方がいます。ご本人の意思で活動されているのはよくわかりますが、やはり自分はどうかと考えると責任は重いものがあると感じてしまいます。なんでもかんでもボランティアとう名前でくらず、しっかりと育成し、有償で携わることも必要かと思えます。</p>
<p>・社会福祉協議会等は、必要なお金をもう少し出して欲しい。</p>
<p>・人には3つの大きな喜びがあると思います。一つ目は、オギャーと生まれて人にしてもらった喜び。二つ目は、自分で何かをできた喜び。三つ目は、人に何かをしてさしあげて喜んでもらえたときの喜び。ボランティアは、心を豊かにしてくれます。これを味わっていただきたいです。</p>
<p>・元気で仕事を特にない60代の人が保育園、学校、社協、介護施設などへお手伝いに行けたらお互い良いことづくめの気がします。手が足りていないことをもっとPRしてもいいのではないかと思います。</p>
<p>・居住地、市全体といった、ボランティアに関わっている人たちの意見交換の場(苦労話や良かったこと等なんでも)</p>
<p>・ボランティアにもっと参加したいと思っっているのですが、自身の体調、火事、農業の手伝いなど目に見えない用もあり思うように参加できない。せめて、自分がお世話にならないように日々過ごすのみです。</p>
<p>・各地域によって異なると思いますが、いただき物が大変多いです。この食材をいかしていただけないのでしょうか。献立を立てている方はどういう考え方ですか？社協という立場を考えた上で住民の方の好意を無碍には、私は出来ませんし、もう少し受け入れてもらえませんか。お金がかかる、かかると言われるようですが、ぜひ、使っていただければほかにお金を回せると思いますが、高齢者事業もなくさなくても良かったのではないですか？皆さんさみしがっていましたよ。給食ボランティア。</p>
<p>・家庭や学校の力が弱くなっている今日、どの程度の支援をすることがいいのか。プライバシーに気を使う時代でもあるので、その兼ね合いが難しいかな？</p>
<p>・どのようなボランティア活動があるのか、よく知られていないと思う。活動内容がわかれば、もう少し参加しやすくなると思います。小さな地域のボランティアから始めると、住みやすい地域づくりの第一歩かと思えます。人に関わるボランティアは、あまり近くない範囲の方がお互いに気軽に活動も利用もできるのではないのでしょうか。</p>
<p>・ひろかみ工芸さんの弁当作り、美雪園さんのタオルたたみなどのボランティアをしたことがあります。</p>
<p>・個人情報を守ることも重要と思うが、見守りに必要最低限の情報を提供していただき、又情報を提供しやすい環境づくりをして地域全体で見守りをしていく必要がある。</p>
<p>・町で「よってけ亭」ありますが、いつみても誰もいないためもったいないと思います。</p>
<p>・若い人が参加できるボランティアがあつたらと思います。</p>
<p>・現在どのような支援を求められているかについて、情報開示があると「やってみようかな」と手を挙げやすい。</p>
<p>・私自身、ボランティアとして活動はしていないが、近所の一人暮らしの方におかずのおすそ分けをしています。</p>
<p>・ボランティアポイント等の制度の確立、立場が逆になったときは、そのポイントを利用できる等を含めた制度。ボランティア活動の輪を大きくするための方式、システム作りの検討が必要と考えます。小さな力を皆でやれば大きな力となるので、まず小さなことから。</p>
<p>・今は隣の人は何をしているかわからない時代</p>
<p>・町内の昼食会、茶の間ボランティアに参加しています。町内の中でも、自治会、民生委員など、もっと関わりを持つべきだと思います。それぞれが縦割り、横のつながりがないように思います。</p>
<p>・ボランティアといえども、責任があり休めません。誰でも気軽に気楽に参加できるように、ならないと協力者は減る一方なのでは…。</p>

<p>・高齢の方には、人の世話になりたくないと思っている方も多いのでは？気兼ねや俺をしなくてとはとか、家の中に入り込まないでとか課題は色々あると思います。そういうことに気を使わなくても良いということを知ることが、人に頼ることに対する気持ちを楽にするのでは？</p>
<p>・若い人たちが楽しんで参加できますように。年寄りの話もためになることが沢山あるので、喧かましいと思わず、心やすらかに聞きましょう。</p>
<p>・必要とする人にして「あげたい」「助けてあげたい」と両者の合意で成立し、それは自分のためであって他者のためではない…この理念を大切に！！と日常生活しているので行動することが第一と思います。高齢者が多くなっている現在、自分の経験を大切に「お互い様」知恵を出し合ひましょう。</p>
<p>・新規スタッフが増えない。意識はあるのだろうが自分たちの生活でいっぱいって感じです。</p>
<p>・今回のアンケートは、自分自身を考えるきっかけとなり大変良かったと思います。何をしたらよいか迷い中でありましたので、これから積極的に行動していきたいと思いました。老人向け喫茶はいかがでしょうか？やってほしい方からも声を出してもらい、それについて振り分ける方法もあります。</p>
<p>・ボランティアは嫌いです。小額でも対価があったほうが良い。</p>
<p>・ボランティアをしなくちゃと力むより私はまず、地域の人たちがなるべく人の悪口を言わない！仲良くすることが弱い人が住みやすい生きやすい地域になると思います。</p>
<p>・地域の友愛ボランティアの仲間に入ってくれる方を探すのが難しくなっている。この先、どこまで続けられるのかと心配である。</p>
<p>・ボランティアの範囲は広い。社協が地域全体の評価を田まめるために、福祉以外のボランティアに対しても情報収集、共有、連携していくことによって、福祉ボランティアの意識が広く深まるような気がする。</p>
<p>・高齢化が進み、交通手段がないため、買い物難民など外出する機会が失われている。各バス路線1ヶ所で良いから大型店舗への乗り入れ、バス出発時間までくつろげるサロンのような場所があればなーと思っている。なお、免許証返納者については無料を。</p>
<p>・すべて無料ですることがボランティアなのですか？少しわからない点が有ります。</p>
<p>・他方のアンケートと全く同じ内容でしたので、ここには記しません。あしからず。</p>
<p>・ボランティアは「無償の奉仕活動」ではあるが、それで良いのかなと個人的には疑問な点があります。</p>
<p>・ボランティアの人が楽しくなければ続かないので、社協の方からの楽しみ方や、遊べる内容を聞かせてもらったり、話し合いに来てもらいたい。</p>
<p>・気軽にボランティア活動に入れるのが理想</p>
<p>・地域の茶の間では、足の悪い人を送迎しているので大変喜んでます。</p>
<p>・若い人たちはボランティアをよく理解していないように見えるのは私だけでしょうか。ボランティア精神を理解していただけたらいいなと思います。</p>
<p>・ボランティア会員も年々年をとり、大変になってきてると思います。若い人たちからの入会を願ってます。</p>
<p>・少しでも働いていると、時間の制約があるので思うほどボランティアに参加できない。</p>
<p>・中学生が夏休み等に体験で来てくれます。飲み物やちょっとした菓子があれば緊張もほぐれるのかと思いますか？無理ですかね？</p>
<p>・仲間は皆70～80代です。若い人は忙しく、後に続く人が無くこの先どうなるのだろうと話しています。</p>
<p>・ボランティア活動は自らの気持ちから起きてこないとお仕着せの行動では長続きしないと思います。自分もどこかで、いろんなことでお世話になっていることがあります。そこで、私も出来ることをと感謝とお互い様の気持ちが必要であると思います。</p>
<p>・ボランティアは相手のあることなので、その人、グループ等のプライバシーや相互の信頼が重要になってくるので、独り善がりのボランティアを「やってやる」精神ではダメ。難しいものです。ボランティアを手助けする側、受ける側の相互理解の充実が必要です。</p>
<p>・地域の茶の間を開いていますが、出席する方は決まってしまう。友達(隣)が声をかけあつてつれてきて下さると増えるかも。公民館が中心にあると集まりやすいのかなと思う。</p>
<p>・ボランティアは無償のものというけどポイントのようなものをもうけるのも楽しいかな？皆で集まってボランティアをする楽しさを味わえるような楽しみも欲しい(研修旅行などはとてもいいと思う)</p>

<p>・若い人たちがもっと参加できるようなボランティア活動ができればいいと思う。</p>
<p>・ボランティア活動に参加する人が年に高齢化して、低年齢の人がなかなか参加してくれない。新規参入しやすいように。</p>
<p>・ボランティアの活動を知らない人が多いように思う。町内会等での働きかけが必要なのではないかなと思う。</p>
<p>・地域で助け合うことは当然といえば当然のことですが、ポイント制度などボランティアをやったことで何らかのお返しがあったほうがやりがいを感じるのではないかなと思う。</p>
<p>・同年代や年上の人話し相手しか出来ません。</p>
<p>・若い人がボランティア活動に入ってくれないのでよい知恵をお願いします。</p>
<p>・会員の高齢化と、会員の減少をどうしたらよいか？また、役員(班長)の負担が多く、役員の交代者がいなく、いつまでも同じ人に負担がかかるがどうしたらよいか？</p>
<p>・ボランティアの内容にもよるが、これやってみたいな！！でも車がないから参加できない。知人にそのたびに送迎してもらうのは気が重い…。歩いていける場所でのボランティアも限られてしまうのでちょっと考えてしまうときがありますが、どうしたらいいんでしょうか？</p>
<p>・友愛給食ボランティアに参加して35年以上になります。何もせずに、嫌だと協力してくれない自分勝手な人たちには情けなく思います。市のほうでなんとか皆に声をかけてくださることをお願いします。80歳を過ぎて2年も経ちました。でも頑張っています。</p>
<p>・夏は自宅のガレージで近所の人とお茶飲みしていましたが、寒くなると家の中は段差があり大変で、顔を見る機会が少なくなって寂しい気がします。</p>
<p>・ボランティアは高齢者が多いです。ホームページは見れない人たちも多いと思うので、目でみてわかる広報誌を望みます。何かあったときに連絡する場所と番号が一覧でわかるチラシを配布するなどを考えたらどうか。</p>
<p>・市役所職員は地域において、指導的発言力をもっていると思う(もたなければならない)。しかし、現実には知識やあるべき姿の追求がなく、ただ日々過ごしているだけである。姿勢のなかで労務管理を行い、福祉に向かい合うよう要求すべきではないか。</p>
<p>・民生委員の活動が見えません。例えば地域の茶の間等、民生委員も出席すべきと思いますが、一回も出席がありません。大切な活動の場だと思えます。</p>
<p>・ボランティアを必要としない地域福祉を充実させる！支援を必要とする人が気兼ねなく声をあげられるように。どこへ行き、誰に言えばいいのか？そういう方が多いのではないのでしょうか。</p>
<p>・少しでも協力したいと、歳を忘れていきます。</p>
<p>・ボランティアに人を誘う、人から誘われて活動することも大切なこととは思いますが、多くの方々からボランティア活動に興味を持ち、自ら進んで参加することが一番大切なのではないかと思えます。どうしたら興味を持つことが出来るのか。行政出身の方々からはもっともっと参加していただきたいと思えます。</p>
<p>・ボランティアは押し付けになってはならない。</p>
<p>・何でもかんでもボランティアと言いますが、もう少し活動しやすいようにしていただきたい。茶の間一つするにも、全部ボランティアの会で支払いさせるようなやり方はあまりよくないです。自分が体を使ってお金のいらぬボランティアは良いですけど、お茶の間はお金がいります。もう少し考えて下さい。</p>
<p>・仕事をしていた現役時代、ボランティアは自分と全く縁のない”他人事”と思っていました。しかしながら退職し、誘われ二つ返事で参加してみると想像以上に楽しかったです。自分の時間を人にプレゼントすることはとても有意義です。</p>
<p>・時間はいっぱいあります。もっともっとボランティア活動に参加したいのですが、何が出来るか、どうしたらいいかわかりません。</p>
<p>・少しずつでも、気軽にボランティア活動する人が多くなればいいと思えます。仕事をしている人でも参加できる、余裕ある社会になればと思えます。</p>
<p>・ボランティアと言うと、人のことなどしてられない、暇のある人がすることと思われがちのときがあります。いつかはどこかで誰かの世話になるところがあると思えます。だから自分では出来るときに出来ることをと少しでも誰かの役に立てたらと思っています。</p>
<p>・市外のボランティア団体との交流等。環境の違うボランティア団体。</p>

<p>・お茶の間の今後の理想として、自発的にグループを作り(例えば、小物作り、ゲーム等)、無理なく参加できれば、開催回数を増やしてもいいかなと思います、なかなか自主的な形は無理かなと思っています。</p>
<p>・官民の格差が恨めしい。高収入の人々にこそ、たくさんのボランティアを促してほしい。</p>
<p>・人の心を読むのは難しいです。人の善意は素直に受け入れられる年寄りになりたいものです。</p>
<p>・ボランティアの活動をもっと良い方向性に考えてほしい。無償提供で、自費まで出してやる人はいなくなっただと思う。</p>
<p>・地域の茶の間では、お茶飲みだけでなく、お弁当の要望が強く、昼食も提供しています。参加者の負担金も上げましたが、毎回赤字です。町内からの補助金、バザーの売り上げで凌ぎましたが、長年昼食を出していたのを茶和会にすることの難しさを感じています。</p>
<p>・現在、調理、茶の間などのボランティアに参加しているが、メンバーが高齢化して、新しい参加者もなかなか増えない。社協の行事への参加も、他の行事(老人クラブ等)と重なり、人数がそろわないこともあった。ボランティア活動は地域の繋がりを作る大切な活動(自分にとって)と思うので継続していきたいが、あまり回数が多いと負担になるという声も聞かれる。ボランティアといっても、やるからには責任もあるが”楽しく”続けていきたい。</p>
<p>・県内のボランティア団体と接すると、魚沼市役所の身体がい患者への姿勢が大変冷たいと感じる。「自分の家族に障がい者がいたら」と想像力を駆使して、暖かく接して欲しい。永年、障がい者に寄り添って活動を続けているボランティア団体の悩みや実態について理解してほしい。</p>
<p>・助成金の充実。親しみやすい場所の提供。若い人たちでも参加しやすい、ボランティア活動。</p>
<p>・これからも私に出来ることがあれば、お役に立ちたいと思います。</p>
<p>・40代、50代のボランティアに対する意識が少ない。</p>
<p>・自分も70代を超え、仕事をしているため、月2回の「地域の茶の間」の手伝いも、全部出ることが出来ません。また、2人暮らしの親の面倒もみたりで、これからのボランティアに関わる人たちの高齢化が心配です。</p>
<p>・地域の茶の間に15年くらい所属しております。一会員でもあり、ボランティアでもあるという形をとってもありがたく感じております。長い今の歴史の中で、そういう形に辿りつけたのだと思いますが、なんとなく「それでいい」と感じています。</p>
<p>・ボランティア活動はあまりしていないのですが、自分の出来る範囲で参加をと思っています。自分も高齢になっていくし、家族のことで精一杯のところもあります。近い将来、自分自身にボランティアが必要になるのではと不安になります。できる限りは、ボランティア活動に参加していきたいです。</p>
<p>・60代半ば過ぎになると、自分の健康面もふまえ、ボランティアの体力的な活動が難しくなってきました。話し相手ぐらいでしたら時間の許す限りできると思います。健康な人はいいいですね。</p>
<p>・社会の中で、福祉の心を育てていく必要がある。</p>
<p>・ボランティアしている方としてもらう方が同じ年齢になり、あまりボランティアに参加したくないと思うようになりました。</p>
<p>・ボランティアは「自ら進んで社会事業など無償で参加する人」と定義されているが、自分名暇な時間を利用してボランティアをすることが、比較的難しく、参加したボランティアが仕事のようになり、都合が悪くて休ませてもらうときは、他のメンバーに申し訳ないと思います。沢山の人からボランティア登録してもらい、いつでもピンチヒッターの補充ができるといいと思います。たまにならやれるという人も居ると思います。</p>
<p>・数年前には金銭的支援がありましたのに(市の方から)今はないに等しいためボランティアの負担が大きくなっている。</p>
<p>・当地区では、現在80歳以上の方を対象(82名)に案内を出し年4回実施しています。毎回多数の参加者を迎え、楽しい時間を過ごしています。前回、一部の男性から、毎月実施できないかという意見もあり、全員と意見交換をし、賛否を伺った結果、今までどおりで良いという意見が多かったので、来年度も原稿どおり実施することに決定しました。家にこもることが多かったり、こういう場所に参加できない人も今後の課題です。</p>
<p>・元気な老人は、負担にならない程度にボランティア活動を老人クラブとしてやったら良いと思う。</p>
<p>・現在、ボランティアを受ける立場になってしまいました。残念です！</p>
<p>・年を取ると、耳が聞こえないとか、目が悪くなってとか少ない人数で集めるのが大変です。来た人に面白かったと言われ嬉しいこともあります。</p>

<p>・ボランティア講演会があっても、他のことと重なって受けられなかったり、受けても自分の年齢を考えると役立てることができるだろうかと思込みしてしまいます。</p>
<p>・ボランティア団体の行っている活動を、ボランティアを必要としている団体・個人にPRし活用して欲しい。</p>
<p>・自分自身が後期高齢者となり、体が思うように動かないことが多いこと、若い人が入ってくれないで困っています。</p>
<p>・高齢化に伴い、地域の絆が薄れてくるのではないかと危惧されます。地域の行事が次第に消えつつある。敬老会、運動会、祭り等、廃止の声が聞こえる。行事は地域の人が協力し作り上げ楽しいものだった。次第に若い人が減り、参加が少なくなり、個人的な興味関心に向けて地域の必要性が薄れているのでは。子どものころから地域への関わりが大切と思う。また地域を大切に作る伝統の継承をどのようにするか。お茶会も小さい単位であつたらいいなと思います。</p>
<p>・ボランティア活動に入っているからといって、あまり重荷にならず、気軽にできるときするといったことでは、だめでしょうか？私は2カ所入っているのです。</p>
<p>・ボランティア活動をする人をする人の年齢が高齢で中々大変です。5～6歳でよいので若い人から入会していただけたら嬉しいのですが？近所の困っている人に対して、良かれと思っていても、うるさがられてしまい成せませんでした。</p>
<p>・ボランティア活動の実態について、どこかで広報していただけたらと思います。どんなボランティア活動が、いつどのようにどれ位の人たちで行っているか。介護施設では、人手が不足していると聞いています。行事ボランティア等の活動回数が年1回～2回にと聞いたことがあります。もっとボランティア活動をしたいと思っている人も多いと思いますので、需要と供給を把握して、ボランティアのコーディネートが上手いけば良いかなと考えました。施設のボランティアを含めて、ポイント制の導入等も考えたら、ボランティア意欲も湧いてくるのではないのでしょうか？他、行政でやっているところもあるようですね。</p>
<p>・幅広い年代が交流できるためには、地域運動会、お祭り(芋煮会)等が良いと思います。</p>
<p>・地域の茶の間を月1回やっています。平日開催なので若い人がいなく、老人が主です。それが少し残念ですが、参加者はとても喜んでいきますので、やりがいがあります。ボランティア意識のある方がスタッフとしてやってくたさるのでスムーズに会を運営されています。自分を含めて、人との繋がりを大切にしながら、みなさんが楽しくやっている様子が見られます。何と言っても、自治会や近隣が助け合うことが大切と考えます。</p>
<p>・地域でも、”大変だろうな”と思われる方々が、おられる様に思います。その方々が、SOSを出してくれない。自分ではどうしてあげれば良いかわからない。</p>
<p>・今の時点では、二人暮らしでほかのことは出来ない今日この頃です。ボランティアと言っても、責任があり、軽々しく手出しできない。仕事であれば、責任を背負ってしますが、ボランティアは軽はずみにすることではないと考えています。</p>
<p>・地域の茶の間のボランティアをしているが、参加者が女性のみというのが少し気になります。家に引きこもるのは男性の方が多いと思います。何とか参加して欲しい。どうしたらよいのでしょうか？</p>
<p>・老人クラブで友愛訪問が盛んな時期がありましたが、各過程の事情やら何やらで中止になりました。私個人としては、人様に無様な様子を見られたくない気持ちがあり、人様のところへ顔出しするのをためらう気持ちがあります。介護する人たちの気遣いをいろいろ見てきました。周り(世間)への気遣いも大変です。惚けたくないと思います。</p>
<p>・困っている人を助けたいと思いますが、自分も忙しく、悩んでいます。どうしたらみんなが幸せに暮らせるか、困った人を助けられるか。声かけ運動でもしたらどうか。</p>
<p>・「余計なお世話」の言葉がつかないように、線引きを行ってボランティア活動を望む方々も居ます。さりげなく見守る近所の人も大切です。</p>
<p>・近隣の対話が少ない。まず、家庭の輪が充実し、隣近所の輪、自治体の輪と広がってゆくべき。</p>
<p>・年配の話から、月一度でいいから近所で顔合わせたり話をしたり出来ると言いたい。これらをボランティアだけに頼っても中々実現しない。何らかの形(例えば老人会とか積極的な活動)が必要と思う。お茶一杯で集える場合は、必要不可欠と思う。</p>
<p>・手話サークルに生徒として6年間通わせていただきました。とても楽しい時間でした。</p>

<p>・若い人は、昼間忙しく、知り合う機会が少ない。もっと若い人の活動に期待。いくつもの縦割りが、同じような内容でいっぱい。なんとか横にまとめられないか？</p>
<p>・ボランティアスタッフも多忙で、年2回の地域の茶の間でも出席できない人いる現状ではありますが、次年度からは、1月～2月に1回程度開催する計画を立てたいと思っています。</p>
<p>・もっといろいろなボランティア活動に取り組みたいと思っはいるのですが、移動手段がバスしかないなので、思うように動けなく、参加をあきらめることが多い現状です。気持ちだけは持ち続けていようと思っいます。</p>
<p>・ボランティアは、強要するものではないので、自発的に参加する人がいないと。知人知人に声をかけはみるのですが、すぐ活動したい人がいない。少しずつ周知していくしかないのですかね。</p>
<p>・皆さん安否を気づかひできることをしたいとおもっていたり、また、親しい人に、ボランティアと括らずに活動している人が多くいます。お互いに困っていることをよく話し合っている人にはできるが、挨拶程度の人には踏み込めない。ボランティア(できるときにできることを)というけれど、〇〇ボランティアなどなると縛られるところがある。</p>
<p>・関係機関に繋ぎを取る</p>
<p>・いつ、どこで、どんなボランティアが必要かもっと広報が必要と考える。</p>
<p>・ボランティアに関する講座が必要ではあるうが、案内や要請が多いのは負担になる。またか！という気持ちになることが度々ある。年間の計画があるとよいのではないか。</p>
<p>・車の運転ができないので、歩いていける範囲の講座、ボランティアにはできるだけ参加するつもりでいます。</p>
<p>・健康老人などにわかりやすい言葉で話しをしてほしい。</p>
<p>・ボランティア活動に参加したいが、中々家族の理解が得られない。</p>
<p>・高齢化がますます進んでいる現状。買い物、通院等、大変な問題です。この地域は車が無ければ生活できない今日、行政で対策を考えていただきたいです。近所の一人暮らしの人は、雪の不安が一番のようです。</p>
<p>・できることを、できるときにと言われて参加したボランティアですが、年毎に参加しなければならないことが増えて忙しいです。割り当てられることも増えてきました(仕方の無いこととは思いますが)。もう少し、年齢の若い人たちが参加できるようなボランティアにしていかないと…と思っています。</p>
<p>・①ボランティアというが、どんどん仕事が増し、責任も大きく、忙しくなりすぎてきたと思っいます。②アンケートの答えが難しかったです。</p>
<p>・ボランティア活動するのに言われたことをしていますが、先に立って積極的に出来ない自分があまり役に立っていないようにおもうようになりました。でも、皆さんが一生懸命に活動しているところを見たり聞いたりすると一つでも二つでもできることをしたいと思っっています。</p>
<p>・お茶飲みグループが多くなるように。</p>
<p>・町内に若い夫婦がいても稼いでいたり、無関心だったりです。自分は高齢になり引退したくても、引き継ぐ人がいないと止められない。少しでも役立つかなと思えば生き甲斐も感じます。いつまでこの状態が続くのか、やはり若い人が関心を示してくれる方法があれば良いと思っいます。</p>
<p>・ボランティアの高齢化が進み、なかなか若い人に集まってもらえないのが悩みです。事業はあるのですが、ボランティア講座などにこれから長くボランティア活動してもらえる人たちの受講を考えて下さい。</p>
<p>・若い方のボランティアが中々入ってくれないので困っている</p>
<p>・高齢(65歳以上)になると、ボランティアに出れる回数用途が限られそうで、積極的に入れなひ気持ちです。</p>
<p>・ボランティアをする人が高齢化しているので、車で移動が必要なボランティアははっきり言って困る。今、自分ではできるが、人様を乗せていて、万が一事に事故を起こしたときはと思うと心配である。運転したくない、まして他人を乗せたくない。</p>
<p>・ボランティア活動は大事なことだと理解しているつもりですが、中々自分から進んで出来ず、声をかけられれば行動しますが、人それぞれの考え方があり、快く受けていただけるか？断られたことがある。</p>

- | |
|---|
| <p>・大きいことは出来ませんが、まず自分の近くの方に助けが必要なことに目ざとくあり、自分の出来る範囲でも小さなボランティアが出来ます。「遠い親戚よりも近くの他人」ということわざもあると思います。</p> |
| <p>・年を重ねるごとに、大勢の場所に出たがらなくなる。”どうせいて？”と聞くと”迷惑をかけるから”という。”そんなことないよ”というけれど、なかなか聞き入れてくれない。皆さんはどう考えますか？</p> |
| <p>・高齢者が元気に過ごすために、住民が寄り合って話しや、運動をする場所を整備することが大切と思います。介護だけでなく、予防にもっと支援をいただきたい。冷房補助整備、運動場(マレットゴルフ練習場)などの整備。</p> |
| <p>・ボランティア活動に積極的に参加したいが、高齢のため自分が受けたいような状況で、思うように参加できなくて残念です。</p> |